

# 1. イントロダクション

## 1.1 ID&Eグループの経営理念・ミッション

### 私たちが目指すべきところ

#### Mission

私たちの使命

#### 世界をすみよくする

常に志を高く持ち、自らの技術を磨くことに励み、蓄積された技術力をサービスとして提供する

#### Vision

なりたい姿

#### 唯一無二の価値を提供する会社

結束したグローバル企業集団に進化、2030年目標は世界ランキングトップクラス

#### Values

共通の価値観

#### 誠意をもってことにあたれば、必ず途は拓ける。

「挑戦する気概」「スピードを大切に」「事業家マインド」  
「ステークホルダーサティスファクション」

### 誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

私たちID&Eグループは、1946年に日本工営を創業して以来、「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。」という経営理念をすべての事業活動の根幹に据えています。創業者・久保田豊の開拓者精神を受け継ぎ、私たちの歩みは常に社会課題の解決と共にありました。

2023年には持株会社体制へ移行し、グループ全体の戦略策定とガバナンスを担う体制を構築。各事業会社が自律的かつ機動的に事業を推進することで、変化の激しい社会環境にも柔軟に対応できる組織へと進化しました。

そして2025年より東京海上グループの一員となり、新たな歴史の幕開けを迎えました。これにより、従来のコンサルティングサービスやエンジニアリングサービスに加え、保険・金融サービスとの連携による新たな価値提供が可能となり、自然災害に対するレジリエンス強化や、サステナブルなインフラへの投融資促進など、より広い領域で社会課題を解決する体制が整いました。

現在、ID&Eグループは「コンサルティング」「都市空間」「エネルギー」の3つの事業セグメントを柱とするコンサルティング&エンジニアリング企業集団として、国内外で多様なプロジェクトを展開しています。各分野の専門性と総合力を活かし、地域に根ざした課題解決と価値創造を推進しています。

私たちは、「世界をすみよくする」をミッションに、これからも変化を恐れず、誠意と技術をもって社会課題に向き合うことで持続可能な未来の実現に貢献してまいります。



災害支援の現場（能登半島）

## 1.2 ID&E グループの主な事業分野

ID&E グループの主要グループ会社は次の事業分野で構成されています。「コンサルティング」「都市空間」「エネルギー」では、国づくり・まちづくりに必要不可欠なインフラの計画・調査・整備において、あらゆる分野で「人財」と「技術」によって生み出された総合力を発揮し、グローバルに事業展開しています。

### コンサルティング事業

インフラの整備・維持など、  
生活基盤を支えるプロジェクトを実施



#### 主要なグループ会社

日本工営株式会社 / 日本シビックコンサルタント株式会社 / 株式会社ジオプラン・ナムテック / 株式会社コーエリサーチ&コンサルティング / 中南米工営株式会社 / NIPPON KOEI LAC,INC. / NIPPON KOEI LATIN AMERICA - CARIBBEAN, CO. LTD. MEXICO S. DE R.L. DE C.V. / NIPPON KOEI LAC DO BRASIL LTD. / NIPPON KOEI MOZAMBIQUE, LTD. / NIPPON KOEI INDIA PVT,LTD. / NIPPON KOEI BANGLADESH LTD. / NIPPON KOEI VIETNAM INTERNATIONAL CO.,LTD. / PHILKOEI INTERNATIONAL,INC. / PT. INDOKOEI INTERNATIONAL / MYANMAR KOEI INTERNATIONAL LTD. / KOEI AFRICA CO.,LTD. / PT. CIKAENGAN TIRTA ENERGI / NIPPON KOEI MOBILITY SDN.BHD. / NIPPON KOEI MOBILITY INDIA PVT,LTD.

#### 事業内容

- 日本国内では、国土交通省などの官庁や地方自治体などが計画するインフラの整備・維持、安全対策などの社会基盤整備事業に対して、計画立案や設計などに関するコンサルティング業務を行っています。近年は、多様な実績と研究開発に基づく信頼性の高い技術をベースに、公共インフラの整備にとどまらず、民間部門を含む総合的なコンサルティングに注力。国民の生活基盤を支える多くのプロジェクトに携わっています。
- 海外では、日本政府のODAプロジェクトを中心に、アジア、アフリカ、中東、中南米などでビジネスを展開しています。水資源・河川、エネルギー、都市・地域開発、交通・運輸、農業・農村開発、環境、防災など幅広い分野で、地域や国の発展を支えるインフラの整備プロジェクトを数多く手掛けています。気候変動問題の解決に向けた環境対策、経済成長の著しい新興諸国での広域交通インフラの整備、また紛争や地震・津波などによって被災した地域の復興支援など、国境を越えた社会貢献、人道支援の最前線でも活躍しています。

### 都市空間事業

世界各地の都市開発需要に対し、  
建築・土木の両分野で貢献



#### 主要なグループ会社

日本工営都市空間株式会社 / 株式会社玉野エコスト / 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所 / BDP HOLDINGS LIMITED および同子会社 (BDP HOLDINGS 含め計50社)

#### 事業内容

- 世界的に都市開発が進む中で建築領域ニーズの高まりを見込み、2016年に英国の建築設計会社BDPをグループへ迎え入れ、都市空間事業を立ち上げました。BDPとの連携によりアジアを中心に土木と建築の技術を融合した都市空間づくりに取り組んでいます。また、2019年に高層建築を得意とするカナダのQUADRANGLE社、2021年にスポーツ施設建築を得意とする英国のPATTERN社をグループ化し、事業分野の多角化を進めています。
- 日本国内においても市街地開発・再開発など土木と建築双方の視点が必要とされる案件が増加していることを背景に、日本工営の事業部門の一つだった都市空間事業とグループ会社の玉野総合コンサルタント株式会社を統合し、2022年7月に日本工営都市空間を発足しました。双方の技術や機能を融合して国内外の都市基盤形成市場への参入を図り、都市・地域再生事業や官民連携事業、スマートシティ開発に対し、これまで以上の提案力・開発力を有する総合プロデュース企業として、サステナブルな都市形成に取り組んでいます。

## 1.2 ID&amp;Eグループの主な事業分野

## エネルギー事業

国内外の電力需要を支える事業を推進



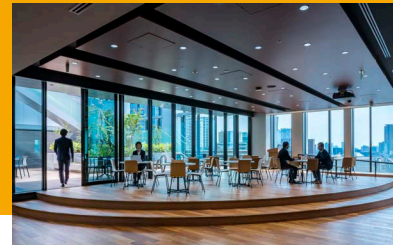
## 主要なグループ会社

日本工営エナジーソリューションズ株式会社 / 株式会社  
 コーエイシステム / 株式会社工営エナジー / 株式会社フレ  
 クセス / 中津川蓄電所合同会社 / NIPPON KOEI ENERGY  
 EUROPE B.V. / RUIEN ENERGY STORAGE NV. / RUIEN  
 ENERGY STORAGE 2 B.V. / RUIEN ENERGY STORAGE 3  
 B.V. / SCHELLE ENERGY STORAGE B.V. / PACIFIC RIM  
 ENERGY INC.

## 事業内容

- 電力会社が運営する変電所・開閉所・発電所の新設や改修、電力系統の監視制御を効率的に行う集中監視制御システムの構築、水力発電所におけるダム管理システムの構築や関連機器の製造などを手掛けています。国内のみならず、新興国の電源開発や電力需要を支えるため、電力事業者であるお客様からの様々なニーズに応え、最適な解決策を提示しながら事業を推進しています。
- 新たな取り組みとして、近年の国内外の再生可能エネルギー市場の拡大や電力システム改革の動きに応えるべく、分散型エネルギーリソースを活用したエネルギーマネジメント事業の調査、開発、設計、工事、管理・運営支援やシステム・技術開発などに取り組んでいます。発電電分離や再生可能エネルギーの導入が先行している欧州で事業や技術のノウハウを蓄積し、将来的には日本国内およびアジアへの展開を目指しています。
- また、水力発電所を運営し売電を行う事業も手掛けています。発電目的ではない既存のダムに小水力発電所を設置することで、クリーンかつ経済性に優れた電力供給を実現しています。

## グループ経営管理



## 主要なグループ会社

日本工営ビジネスパートナーズ株式会社 / 株式会社ニッ  
 キ・コーポレーション / 愛知玉野情報システム株式会社 /  
 株式会社エル・コーエイ

## 事業内容

- ID&Eグループ全体のミッションを実現して企業価値を高めるため、持株会社体制の中で、グループ全体のグループガバナンスおよびグループへのサービス提供機能を担います。
- 「グループ全体を俯瞰して全体最適を実現し、企業価値を高めていく」役割として、実力を発揮していきます。

## 1.2 ID&amp;Eグループの主な事業分野

## グループ運営体制

東京海上グループ

ID&amp;E グループ



ID&amp;E ホールディングス株式会社

コンサルティング事業



日本工営株式会社

都市空間事業



日本工営都市空間株式会社

BDP.

BDP HOLDINGS LIMITED

エネルギー事業



日本工営エナジーソリューションズ株式会社

グループ事業



日本工営ビジネスパートナーズ株式会社

その他のグループ会社

ID&amp;Eグループを代表する最近の完成案件



アサハン第3水力発電所（インドネシア）



美和発電所

福井県立恐竜博物館 新館 化石研究体験  
(撮影 株式会社 ナカサアンドパートナーズ 河野政人)

ダブリン国立小児病院（アイルランド）

## 1.3 サステナビリティから見たID&Eグループのあゆみ

ID&Eグループは創業以来、社会課題に真正面から向き合い、生活基盤から都市空間、エネルギー、災害復興、そしてGX・DX（グリーンTRANSフォーメーション・デジタルTRANSフォーメーション）まで事業領域を進化・拡大してきました。こうして培った技術と専門性を活かして、現在も持続可能な社会づくりに貢献しています。さらに、2025年からは保険との融合による新たな価値創造にも取り組んでいます。

### ID&Eのサステナビリティ提供価値

#### 創業期 (1946 ~ 1969)

国内外の戦後復興と  
基本的な生活基盤づくり



バラーチャン水力発電 (ミャンマー)

人々の暮らしを守る一当グループのサステナビリティに対する姿勢の原点です。戦後の国土復興やアジア各国の発展に欠かせない生活基盤整備への寄与を通じて、持続可能な未来への第一歩を踏み出しました。

#### 発展期 (1970 ~ 1989)

経済成長を支える  
社会基盤全体の高度化



アサハン第2水力発電 (インドネシア)

経済成長と社会・環境の両立を目指し、持続可能な社会基盤整備に貢献しました。

#### 成熟期 (1990 ~ 2009)

快適性・環境変化への対応と  
インフラの改修・整備



東京国際 (羽田) 空港 B 滑走路

社会の成熟に伴う新たな課題に対応し、持続可能なインフラ管理の礎を築きました。

#### 革新期 (2010 ~ 2024)

レジリエンスと  
サステナビリティの追求



ウェストミンスター宮殿 (イギリス)

東日本大震災からの復興、気候変動対策、都市再生など、複雑化する課題に対応。グループの共創力を高め、サステナビリティとレジリエンスを備えた社会づくりに貢献しました。

#### これから (2025 ~)

社会課題解決の新たなステージへ



共創とイノベーションで社会課題解決の最前線を目指すべく、東京海上グループとの共創により、3事業を加速させていきます。民間市場の拡大とともに、保険と技術の融合で、より強靱でサステナブルな社会の実現に貢献します。

1946

#### 1946年 日本工営創業

社会課題解決を使命とした技術者集団の誕生

1970

#### 2005年 玉野総合コンサルタント株式会社を子会社化

中部圏における競争力強化。都市地域整備事業における知見の統合

1990

#### 2016年 BDP社グループ化、都市空間事業立ち上げ

グローバルな都市空間事業の強化。多様な価値観・専門性の融合

2010

#### 2021年 電力エンジニアリング事業、エネルギー事業統合

グローバルで多様な社会ニーズに応えるため、事業領域を拡大

2025

#### 2025年 東京海上グループ参画

保険と技術の融合で、より大きな社会インパクトを目指す

#### 2023年 持株会社化

多様な事業・人財を結集し、社会課題解決力を最大化